

Ⅳ 3 年経験者研修

1 実施要項

1 目的

県内の公立の小学校・中学校及び義務教育学校並びに県立の中学校、高等学校及び特別支援学校（高知市立学校を除く。）の２年間の教職経験をもつ教諭に対して、若年教員育成プログラムの一環として１年間の研修を実施し、学習評価を生かした学習指導力の向上を図る。

2 研修対象者等

３年経験者研修の対象となる者は、次の者であって、この研修を受講する者（以下「受講者」という。）は、研修効果及び校務への影響等を考慮し、県教育委員会が年度当初に決定する。

- (1) 平成22年度以降採用の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校教諭で２年経験者研修を修了し、３年経験者研修を修了していない者。
- (2) (1)に挙げる者のうち、教諭として、国立、公立又は私立の学校において２年以上勤務した経験を有する者で、県教育委員会が当該者の経験の程度を勘案して３年経験者研修を実施する必要があると認める者は対象としない。
- (3) 県教育委員会は、この研修を効果的に実施するため、必要があるときは、研修対象者の一部を次年度以降に繰り下げて受講させるなどの措置をとる。

3 研修内容及び研修日数

３年経験者研修は、高知県教育センター（以下「県教育センター」という。）において実施する研修（以下「教育センター研修」という。）で構成し、研修内容及び研修日数は、別表のとおりとする。

- (1) 小学校、中学校及び高等学校の受講者で、学校教育法第81条第２項各号または学校教育法施行規則第140条各号に該当する児童生徒を担当している者は、特別支援学校の研修計画で受講することができる。
- (2) 特別支援学校の受講者で、知的障害者である児童生徒を教育する場合の教育課程以外を担当している者は、小学校・中学校・高等学校の研修計画で受講することができる。

4 年間研修計画

(1) 作成と実施

高知県教育センター所長（以下「県教育センター所長」という。）は、この要項に基づき研修計画を作成し、効果的に研修を実施する。

(2) 作成上の留意点

- ア 若年教員育成プログラムの目的に応じた効果的な研修計画とする。
- イ ２年経験者研修との有機的関連を図る。

(3) 実施上の留意点

- ア 受講者が研修の目的を十分に理解し、研修参加の意欲を高めるよう配慮する。
- イ ２年経験者研修で明らかにされたそれぞれの課題を把握し、実践的指導力の向上につながるよう実施する。

5 校内指導体制等

- (1) 校長は、教育センター研修及び在籍校での授業実践等が円滑かつ効果的に実施できるよう校内体制を整備する。
- (2) 校長は、次のア、イに留意のうえ、教頭及び指導・助言に当たる者と連携して３年経験者研修が効果的に実施できるよう努める。
 - ア 受講者に研修の目的を十分に理解させ、研修意欲を高めるよう配慮する。
 - イ 受講者の悩みや現状を把握して適切な助言・支援を行う等、研修意欲が継続するよう配慮する。

6 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項については、県教育センター所長が別に定める。

〈別表〉研修内容及び研修日数等

※ 〈全〉は全校種、〈小〉は小学校、〈中〉は中学校、〈高〉は高等学校、〈特〉は特別支援学校の略

	研修項目	研修内容		研修日数等	
教育センター研修	授業実践研修	I	〈全〉 ■学習評価を生かした授業改善の方策 ■研修の進め方 ■学習評価を生かした授業改善Ⅰ	1日	3日
		II	〈全〉 ■学習評価を生かした授業改善Ⅱ 〈小〉 ■保幼小の接続	1日	
		III	〈全〉[ライブ配信研修] ■教職員の服務 ■学習評価の分析を生かした授業改善の実践発表	1日	
在籍校研修	授業実践	〈全〉 ■授業実践① ■授業実践②（公開授業及び研究協議）		2回	

2 教育センター研修の期日及び研修会場

期 日 ・ 曜 日	研 修 項 目	研 修 会 場				掲載 ページ
		小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	特 別 支 援 学 校	
5 月 16 日 (金)	授業実践研修Ⅰ	高知県教育センター			—	P. 56
5 月 19 日 (月)		—			高知県教育センター	
7 月 1 日 (火)	授業実践研修Ⅱ	高知県教育センター	—		高知県教育センター	
7 月 3 日 (木)		—	高知県教育センター		—	
7 月 9 日 (水)						
2 月 6 日 (金)	授業実践研修Ⅲ	在籍校				

3 研修計画

(1) ねらい

学習評価を生かした授業改善の方策を学び、学習評価の考え方や役割を理解するとともに、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践を行うことを通して、確かな学力を保障するための学習指導力を身に付ける。

(2) 日程及び内容

【授業実践研修Ⅰ】

令和7年5月16日(金) 小学校・中学校・高等学校

会場 高知県教育センター

9:00 9:30 12:30 13:30 16:00

受 付	開 講 式	講義・演習 学習評価を生かした 授業改善の方策	研修の 進め方	昼 食	グループ別・教科別研究協議 学習評価を生かした授業改善Ⅰ
--------	-------------	-------------------------------	------------	--------	---------------------------------

※管理職の持ち出し許可を得た情報端末機器（タブレット等）を持参すること。（P. 59参照）

令和7年5月19日(月) 特別支援学校

会場 高知県教育センター

9:00 9:30 12:30 13:30 16:00

受 付	開 講 式	講義・演習 学習評価を生かした 授業改善の方策	昼 食	研修の 進め方	グループ別研究協議 学習評価を生かした授業改善Ⅰ
--------	-------------	-------------------------------	--------	------------	-----------------------------

※管理職の持ち出し許可を得た情報端末機器（タブレット等）を持参すること。（P. 59 参照）

【授業実践研修Ⅱ】

令和7年7月1日(火) 小学校

会場 高知県教育センター

9:00 9:30 12:00 13:00 16:00

受 付	講義 保幼小 の接続	グループ別研究協議 学習評価を生かした 授業改善Ⅱ	昼 食	グループ別研究協議 学習評価を生かした授業改善Ⅱ
--------	------------------	---------------------------------	--------	-----------------------------

令和7年7月3日(木) 中学校・高等学校

会場 高知県教育センター

令和7年7月1日(火) 特別支援学校

会場 高知県教育センター

9:00 9:30 12:00 13:00 16:00

受 付	グループ別・教科別研究協議 学習評価を生かした授業改善Ⅱ	昼 食	グループ別・教科別研究協議 学習評価を生かした授業改善Ⅱ
--------	---------------------------------	--------	---------------------------------

※高等学校(情報、農業、工業、商業、看護)の受講者は、上記の内容で7月9日(水)に実施する。

【授業実践研修Ⅲ】

令和8年2月6日(金) 全校種

【ライブ配信研修】 会場 在籍校

9:10 9:30 12:00 13:00 16:00

接 続	講義 教職員 の服務	グループ別・教科別研究協議 学習評価の分析を生かした 授業改善の実践発表	昼 食	グループ別・教科別研究協議 学習評価の分析を生かした 授業改善の実践発表	閉 講 式
--------	------------------	--	--------	--	-------------

※9:20 までに接続を完了すること。出席確認を 9:20 に行います。

4 「授業実践研修」の流れ（提出物及び持参物等）

月	4	5	6	7～8
在籍校研修等	学習評価の考え方や役割を理解し、3回の「授業実践研修」と在籍校における「授業実践」			
			授業実践① 実施期間 6/2（月）～6/27（金）	
			■学習目標に対する評価規準の設定や評価の対象としたものを分析し、成果と課題、改善の方策を明確にする。	
教育センター研修		授業実践研修Ⅰ 5/16(金) 小・中・高 5/19(月) 特		授業実践研修Ⅱ 7/1(火) 小・特 7/3(木) 中・高 ※7月9日(水)高の一部教科
		ノートやワークシート、テスト等の分析の視点と授業改善等について研究協議を行う。特別支援学校は、児童生徒の実態に基づいた学習過程とその結果の分析の視点及び授業改善について研究協議を行う。		授業実践①の授業と評価の分析について報告し、分析を生かした授業改善の方策について協議を行い、授業実践②につなげる。
○提出物	○受講教科調査（小・特） 【締切】4/16（水） ※二次元コード	【授業実践研修Ⅰ受講後】 ○授業実践シート (1)(4)まで記述 小・中・高【締切】5/23(金) 特【締切】5/26(月)	○実施した学習指導案① ○年間指導計画(特) 注1 【締切】6/24（火）	※授業実践②の実施日を各教科担当指導主事等に連絡する。 【締切】7/31（木）
●持参物		●授業実践シート (1)(3)まで記述 ●自己評価票 （「自己の達成規準」を記述） ※HP掲載日 5/9(金)	学習評価の対象としたものとは、ワークシートやテスト、ノート等を指します。	●授業実践シート (2)(1)まで記述 ●実施した学習指導案① ●授業後の板書写真 ●授業実践①で学習評価の対象としたもの ●年間指導計画(特)
上記実施に当たっての確認事項	小・中・高では、児童生徒のワークシートやノート、テスト等を分析するなど、評価規準に対応する具体的な子どもの姿を明確にすることで、実践上の課題を明らかにすること。また、特別支援学校では、児童生徒の実態に基づいた学習過程とその結果を分析し、実践上の課題を明らかにすること。 ＜研修の提出物及び持参物等＞ - 提出物の様式は、県教育センターHP「若年教員研修」からダウンロードすること。 「授業実践研修Ⅰ」の資料持参部数等は、県教育センターHP「年間研修カレンダー」に掲載する。 - 学習指導案、授業実践シートは、締切日までに各教科担当指導主事等より指定された方法で提出する。 ＜特別支援学校の授業実践研修における動画撮影について＞ - 特別支援学校は、授業実践①及び②を実践する際には、動画撮影を行う。 - 課題解決の具体の方策が適切であったか撮影した授業動画や学習評価をもとに分析を行い、その成果と改善の方策を明確にすること。			

9	10～11	12～1	2	3
を関連させながら、C Aから始まるP D C Aサイクルを機能させ、授業実践力を向上させる。				
授業実践② 実施期間 9/1 (月)～11/28 (金) ■管理職等の参観による公開授業 ■課題解決の具体の方策が適切であったか学習評価を基に分析を行い、その成果と課題、改善の方策を明確にする。				
			授業実践研修Ⅲ 【ライブ配信研修】 2/6(金)	
			一人 15 分程度の発表を行い、成果と課題を生かした今後の PDCA サイクルの取組について協議を行う。	
○学習指導案② ○授業実践シート (2) (2) まで記述) ○年間指導計画(特) 【締切】授業実施日 2 週間前		○発表用スライドデータ (以下については、すべて PDF で提出) ○配付用スライド資料 (P. 60(5)イ参照) ○授業後の板書写真を追加した学習指導案② ○授業実践シート (3) (1) まで記述) ○授業実践②で学習評価の対象としたもの ○年間指導計画(特) ↓ 【授業実践研修Ⅲを受講後】注2 ○授業実践シート (1)～(4)及び校長所見を記述) ○自己評価票 (本人及び校長評価を記述)		【締切】1/22 (木)
		※授業実践研修Ⅲの提出物の提出方法及び準備物の詳細については、各教科担当指導主事等から連絡する。 1/15(木)		
注1 ＜特別支援学校における選択教科等の「年間指導計画」の提出及び持参について＞ 当該研修では、効果的な指導ができるよう「年間指導計画」を活用し研究協議を実施する。授業実践①②において選択する教科等の「年間指導計画」を「学習指導案」とともに指導主事等へ提出すること。				
注2 ＜授業実践研修Ⅲを受講後の提出物について＞				
小・中	校長→当該市町村（学校組合）教育長 当該市町村（学校組合）教育長→県教育センター所長		締切 2/16 (月) 締切 2/24 (火)	
県立	校長→県教育センター所長		締切 2/24 (火)	
【提出方法】グループウェアのメッセージ 県教育センター「若年教員研修担当」あて				

5 「授業実践研修」における留意事項

◆ 情報端末機器（タブレット等）及び Google アカウントの持参について

高知県教育委員会から配付された Google アカウント（〇〇@g.kochinet.ed.jp）及び所属の自治体（県立の場合は県）が持ち出しを認めている学校の情報端末機器（タブレット）で、管理職の持ち出し許可を得た情報端末機器を持参すること。持参できない場合は、センターの機器を貸し出すので、研修当日、会場で申し出ること。

※県立学校においては、令和6年6月5日付け6高教政第194号【分類番号11-04-9999】「教職員用パソコン（校務系・学習系）の学校外での利用について（通知）」の運用ルールを管理職と確認のうえ持参すること。

◆ 年次研修にかかる提出物について

研修にかかるすべての提出物は、必ず管理職の決裁を受けてから提出すること。

【提出方法】**小・中** 学校長→当該市町村（学校組合）教育長→県教育センター所長

県立 学校長→県教育センター所長

※学習指導案、授業実践シートに限っては、管理職の確認の後、本人より各教科担当指導主事等に提出する。

◆ 授業実践について

年次研修における授業実践については、研修の趣旨および若年教員の負担を鑑み、他の主催する事業と兼ねることは適切ではない。ただし、各学校の校内のみで行う研修の取組と連動させることは可能とする。その場合は、受講者、管理職等が研修のねらいに沿った協議ができる場を別に設定し協議を行うこととする。

（1）「授業実践研修」における受講教科等について（小学校・特別支援学校）

ア 小学校の「授業実践研修」における受講教科については、「国語、社会、算数、理科、生活」の5教科のうち、初任者研修及び2年経験者研修で選択した教科以外とする。受講者は、入力内容を管理職と相談・確認のうえ、4月16日（水）までに二次元コードから回答する。（P.61 参照）選択した教科が受講教科となる。決定通知は行わない。

イ 特別支援学校の授業実践で選択する教科については、入力内容を管理職と相談・確認のうえ、4月16日（水）までに二次元コードから回答する。（P.62 参照）

（2）在籍校での授業実践について

在籍校での授業実践は、授業実践研修を受講後、研修内容を踏まえ学習評価を生かした授業改善の在り方を明らかにするとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践を行うこと。

ア 授業実践①（6月2日～6月27日）について

「授業実践研修Ⅰ」を受講後、学習指導案、ワークシートやノート、テスト等の作成を行い、授業を実施する。実施後、ワークシートやテスト等の分析を行い、児童生徒の学習のつまずきや指導の課題について把握する。

イ 授業実践②（9月1日～11月28日）について

管理職等の参観による公開授業とし、研究協議を行う。（P.74 参照）各教科担当指導主事等の訪問は行わず、各学校において実施する。

「授業実践研修Ⅱ」を受講後、協議で得た授業改善の方策を踏まえて、学習指導案やワークシート、ノート、テスト等の作成を行い、「授業実践②」実施2週間前までに各教科担当指導主事等に提出し、指導・助言を受ける。指導・助言を受け加筆・修正した学習指導案は、授業実践②実施前に提出し、授業を実施する。授業実践①及び授業実践研修での内容を生かしながら、PDCAサイクルのCAを意識した実践とする。

授業実施日については、7月31日（木）までに各教科担当指導主事等より指定された方法で連絡する。

(3) 特別支援学校の「授業実践研修」について

ア 教育課程について

受講者は、担当する教育課程を確認し授業実践を実施すること。なお、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育課程（以下「準ずる教育課程」という。）と、知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教育課程（以下「知的の教育課程」という。）の両方を担当している場合は、どちらかに統一して実施すること。

イ 準ずる教育課程で実施する場合

授業実践①、②は、担当する「教科」または「特別の教科 道徳」のどちらかを選択すること。授業実践①、②とも選択した同一の教科等で実施すること。

ウ 知的の教育課程で実施する場合

授業実践①、②は、「知的の教科」または「特別の教科 道徳」のどちらかを選択すること。授業実践①、②とも選択した同一の教科等で実施すること。
指導の形態については、「教科別の指導」または「各教科等を合わせた指導」とする。

エ 動画撮影について

授業実践①においては、授業の様子を動画撮影し、学習過程と結果を分析すること等により、児童生徒の学習のつまずきや指導の課題について把握する。
授業実践②においては、授業の様子を動画撮影し、「授業実践研修Ⅲ」における、「学習評価の分析を生かした授業改善の実践発表」で活用する。

(4) 学習評価の対象物について

「授業実践研修Ⅱ・Ⅲ」の研究協議で使用する学習評価の対象物については、個人情報に配慮する。

(5) 「授業実践研修Ⅲ」（2月6日）について

ZoomまたはGoogle Workspace for Educationを活用したライブ配信で研修を実施する。在籍校において、通信環境が良く、研修に専念できる環境で受講すること。マイク、カメラ機能のある端末を使用し、1人1台で接続する。9:20に出席確認を行うため、時間までに接続を完了すること。

ア 発表用スライドデータの作成について

- ・Google スライドにて作成し、一人15分程度の発表を行う。
- ・授業実践シートやPDCAサイクルを意識し、以下の内容をまとめたものとする。

1. これまでの学習評価における自己の課題と、課題解決に向かう自己目標
2. 「授業実践研修Ⅰ」の学びを生かした授業改善の視点
3. 授業実践①の実施内容と分析（具体の実践の様子や具体的評価内容等）
4. 「授業実践研修Ⅱ」の学び（協議等を通して得られた新たな気づきや授業改善の視点や方向性等）
5. 授業実践②の実施内容と分析（評価物等のデータ及びその分析から自己の授業の成果と課題等）
6. 今後の課題の整理

イ 配付用スライド資料について

- ・発表用スライドデータをPDF保存したもの。
※グループ内で配付するため、個人情報に配慮すること。

(6) 「授業実践シート」について

「授業実践シート」は教育センター研修、在籍校における授業実践、研究協議等で活用し、年間を通して効果的なPDCAサイクルとなるように、その都度追記・修正する。

なお、記述する際には、以下のア・イについて留意する。

ア A3用紙に、フォントサイズは10～11ポイントで記述する。

イ 記述内容については、「授業実践シートの記述について」（P.63）を参照する。

(7) 授業チェックシートの活用について

公開授業等の授業実践の際には、管理職等の参観者に「授業チェックシート」（P.75）を記述してもらうなど、自己の授業の振り返りができるように工夫する。

(8) 自己評価票について

「自己評価票」(P. 76～)は、「高知県教員育成指標」に対する「自己の達成規準」を作成し、自己評価を行うとともに校長との面談等を通して教育実践を振り返り、次のステップに生かすよう活用する。なお、校長評価を1月にしてもらう。

(9) 提出した学習指導案について

本研修で提出した学習指導案は、教科研究センターにて広く活用できるように、閲覧・複写可能な資料として公開する。また、研修等の資料として使用することがある。なお、その場合、学校名、教諭名及び個人が特定されるような情報等については、県教育センターにて削除する。

【センター研修での持参物】

全校種	●情報端末機器（タブレット等） ●若年教員研修のしおり「子どもと生きる」 ●名札（在籍校で使用しているもの） ●「高知県授業づくり Basic ガイドブック～若年教員のための基礎・基本～」または「高知県授業づくり Basic ガイドブックー高校授業編ー」	●若年教員研修の概要 ●授業実践シート
小・中・高	●担当（受講）教科の学習指導要領解説 ●担当（受講）教科の使用教科書等 ●担当教科の「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」 【国立教育政策研究所 http://www.nier.go.jp/】	
特	●特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部) ●特別支援学校学習指導要領解説 知的障害者教科等編(高等部) ●準ずる教育課程における担当教科の学習指導要領解説等	※実践に関係するものを持参すること。

3年経験者研修 受講教科調査（小学校）

※二次元コードから回答する。

※管理職と入力内容を相談・確認のうえ、回答する。

※専科教員や複式学級、特別支援学級の担任、通級による指導の担当のみ特記事項に入力する。

※入力及び回答については、P. 59 参照。

高知県教育委員会から配付された Google アカウントをご使用ください。
回答内容は、印刷する等し、保管するようにしてください。



【4/16締切】令和7年度3年経験者研修 受講教科調査（小学校）

※管理職と相談・確認のうえ回答してください。
※国語・社会・算数・理科・生活の5教科のうち、初任者研修及び2年経験者研修で選択した教科以外から選択してください。
※入力及び回答については、概要P.59参照。

@g.kochinet.ed.jp アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

①受講者番号（半角）

※「31〇〇」からはじまる4桁の番号を入力は、管理職に確認してください。

回答を入力

②学校名

例) 〇〇立〇〇〇小学校

回答を入力



<https://x.gd/6P68Z>

※国語・社会・算数・理科・生活の5教科のうち、初任者研修及び2年経験者研修で選択した教科以外から選択してください。

※専科教員や複式学級、特別支援学級の担任、通級による指導の担当のみ特記事項を入力してください。

(例)・専科で4年から6年の理科を担当しているが、授業実践は5年で行う。

・3・4年の複式学級を担当しているが、授業実践は4年で行う。

・3・4年の複式学級を担当しており、授業実践も複式で行う。

・特別支援学級（自閉症・情緒障害）の担任をしているが、授業実践は交流学級で行う。

3年経験者研修 受講教科等調査（特別支援学校）

※二次元コードから回答する。

※管理職と入力内容を相談・確認のうえ、回答する。

※受講教科の選択について特筆すべきことがあれば、特記事項に入力する。

※小学校、中学校、高等学校に準ずる教育課程を担当している受講者は、小学校、中学校、高等学校の研修計画を選択することができる。受講を希望する者は、特記事項にその旨を入力する。

※入力及び回答については、P.59、60 参照。

高知県教育委員会から配付された Google アカウントをご使用ください。
回答内容は、印刷する等し、保管するようにしてください。



【4/16締切】令和7年度3年経験者研修 受講教科等調査（特別支援学校）

※特別支援学校の受講者のみ回答してください。
※入力及び回答については、概要 P.59、60参照。

@g.kochinet.ed.jp アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の質問です

① 受講者番号（半角）

※「34〇〇」の4桁の番号です。不明な場合は、管理職に確認してください。

回答を入力

② 学校名

例) 〇〇立〇〇学校

回答を入力



<https://x.gd/hajSI>

<特別支援学校 特記事項記載例>

- (例)・小学校に準ずる教育課程 算数（3年）で授業実践を行う。
- ・高等学校に準ずる教育課程（外国語）を担当しており、教科の専門性を高めたいため、高等学校（外国語）の受講を希望。

令和7年度 3年経験者研修 授業実践シートの記述について

受講者番号	学校名	教科/ 担当学年	受講者氏名
1 (1) 学習評価における自己の課題 これまでの自己の授業実践を振り返り、学習評価の現状や課題（評価基準の設定、評価の対象物とその分析、妥当性 等）について、具体的に記述する。 【授業実践研修Ⅰに持参】 授業実践① (4) 授業実践研修Ⅰにおける気付きと課題解決に向かう自己目標 児童生徒の学力等の実態から、目指す児童生徒の姿を明確にし、学習評価の考え方や役割を生かして、課題解決に向かう自己目標と具体的な計画を立てる。 例) ワークシートの記述内容の分析やテストの誤答分析等による授業改善等 ※「授業実践研修Ⅰ」受講後に記述 ※5月23日（小・中・高）、5月26日（特）までに各教科担当指導主事等へ提出 3 (3) 目指す児童生徒の姿 担当する児童生徒の学力等の実態を基に、授業実践を通して目指す、1年後の児童生徒の姿を具体的に記述する。 ※資質・能力を身に付けた姿を具体的に記述する。 【授業実践研修Ⅰに持参】			
2 (2) 授業実践研修Ⅱにおける気付き 「授業実践研修Ⅱ」での気付きを踏まえ、自己目標達成に向かう具体について考え、授業実践②における学習評価を生かした授業改善の具体的な方策について記述する。 ※「授業実践研修Ⅱ」受講後に記述し、授業実践②の実施2週間前までに各教科担当指導主事等へ提出 授業実践② (2) 授業実践研修Ⅲにおける気付き 「授業実践研修Ⅲ」における研究協議後の気付きについて具体的に記述する。 ※「授業実践研修Ⅲ」受講後に記述			
2 (1) 学習評価の分析による授業実践①の成果と課題 【成果】 授業実践①における学習評価を生かした授業改善の成果と課題について具体的に記述する。 例) 評価対象とするワークシートやノート、テスト等の分析から見えてきた学習目標に対する評価基準の設定や評価方法 等 ※授業実践①の研究協議後に記述 【授業実践研修Ⅱに持参】 3 (1) 学習評価の分析による授業実践②の成果と課題 【成果】 授業実践②を通して、授業実践①で明らかになった課題解決の具体の方策が適切であったか、学習評価を基に分析を行い、その成果と課題について記述する。 ※参観者の授業チェックシート等の活用も工夫する。 ※授業実践②の研究協議後に記述 ※1月22日までに各教科担当指導主事等へ事前提出			
4 次年度の授業実践力向上に向けた方策 「授業実践研修」及び「自己評価票」を基に自己の実践を振り返り、授業実践力の向上に向けた具体的な方策について簡潔にまとめて記述する。			
校長所見 次年度に向けて、受講者が授業実践力をさらに向上できるよう、3年経験者研修における受講者の取組や日々の教育活動の中で気付いた点を記述する。 校長名			